

參考資料

ひとり親家庭・多子世帯等自立応援プロジェクト（施策の方向性）

経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭・多子世帯等の自立を支援するため、行政の支援に確実につながる仕組みを整えるとともに、生活・住まい・学び・仕事を応援するために支援を充実

支援につながる

ひとり親家庭

- 相談窓口のワンストップ化の推進（①ひとり親家庭集中相談体制の整備等、②相談窓口への誘導、③ひとり親家庭支援ナビの作成及び活用、④支援情報ポータルサイトの活用、⑤携帯メールを活用した双方向型の支援、⑥全国の自治体のひとり親支援情報を「見える化」）【厚労】
- 自治体の窓口における相談の水準の向上【厚労】
- 生活困窮者自立支援制度の着実な実施とひとり親施策との連携の推進【厚労】

生活を応援

- 家事援助・保育サービスの充実【厚労】
- ひとり親家庭の生活・学習支援の実施（子供の居場所づくり等）【厚労】
- ショートステイ・トワイライトステイの充実【厚労】
- 母子生活支援施設の活用【厚労】
- 児童家庭支援センターの活用【厚労】
- 養育費の確保支援
 - ・養育費の相談支援の強化（弁護士による養育費相談の実施、取決め促進に効果的な取組を地方自治体に情報提供）【厚労】
 - ・パンフレット・合意書ひな形の作成及び離婚届書との同時交付等【法務】
 - ・財産開示制度等に係る所要の民事執行法の改正（中長期的課題）【法務】
- 児童扶養手当に関する検討【厚労】
- 母子父子寡婦福祉資金貸付金の見直し（利率のあり方等）【厚労】
- 生活福祉資金貸付制度の見直し（多子世帯等への教育支援資金等）【厚労】

仕事を応援

- 就職に有利な資格の取得支援【厚労】
- 寄り添い型支援の実施【厚労】
- ひとり親の就労支援（ハローワークのひとり親全カサポートキャンペーン）【厚労】
 - ・自治体とハローワークの連携による取組や、マザーズハローワークの取組を強化
 - ・ひとり親を雇い入れた企業への助成の充実について検討
- ひとり親が利用しやすい能力開発施策の推進【厚労】

学びを応援

- ひとり親家庭の子供等の学習支援【厚労】
 - ・ひとり親家庭の生活・学習支援の実施
 - ・高等学校卒業程度認定試験の合格支援
 - ・生活困窮世帯等の子どもの学習支援（高校生に対する中退防止の取組強化、家庭訪問の強化による生活困窮世帯等の自立促進）
 - ・生活保護受給世帯の子どもの学習塾等費用の収入認定除外
- 学習が遅れがちなお子やさらに学びを深めたい子供への学習支援（地域未来塾・高校生未来塾（仮称））【文科】
- ひとり親家庭の生活・学習支援の実施（親の学び直し支援）【厚労】
 - ・家計管理等の講習会等の開催、高等学校卒業程度認定試験を目指す親への学習支援
- 教育費負担軽減の更なる充実
 - ・幼児教育の段階的無償化へ向けた取組の推進【文科】
 - ・フリースクール等で学ぶ子供への支援【文科】
 - ・高校生等奨学給付金事業の充実【文科】
 - ・大学等奨学金事業（無利子奨学金事業）の充実等【文科】
- 子供やその家庭が抱える問題への対応（学校をプラットフォームとした対策）
 - ・スクールソーシャルワーカーの配置拡充【文科】
 - ・地域人材の活用や学校・福祉との連携によるアウトリーチ型家庭教育支援等
- 教育環境等の整備
 - ・青少年の「自立する」力応援プロジェクトの実施【文科】
 - ・学校給食実施率の向上等【文科】

住まいを応援

- 公的賃貸住宅や民間賃貸住宅における子育て世帯の居住の安定の確保【国交】
- ひとり親家庭向け賃貸住宅としての空き家の活用の促進【厚労・国交】
- 新たな生活場所を求めるひとり親家庭等に対する支援【厚労】
- 生活困窮者に対する住居確保給付金の支給【厚労】

社会全体で応援

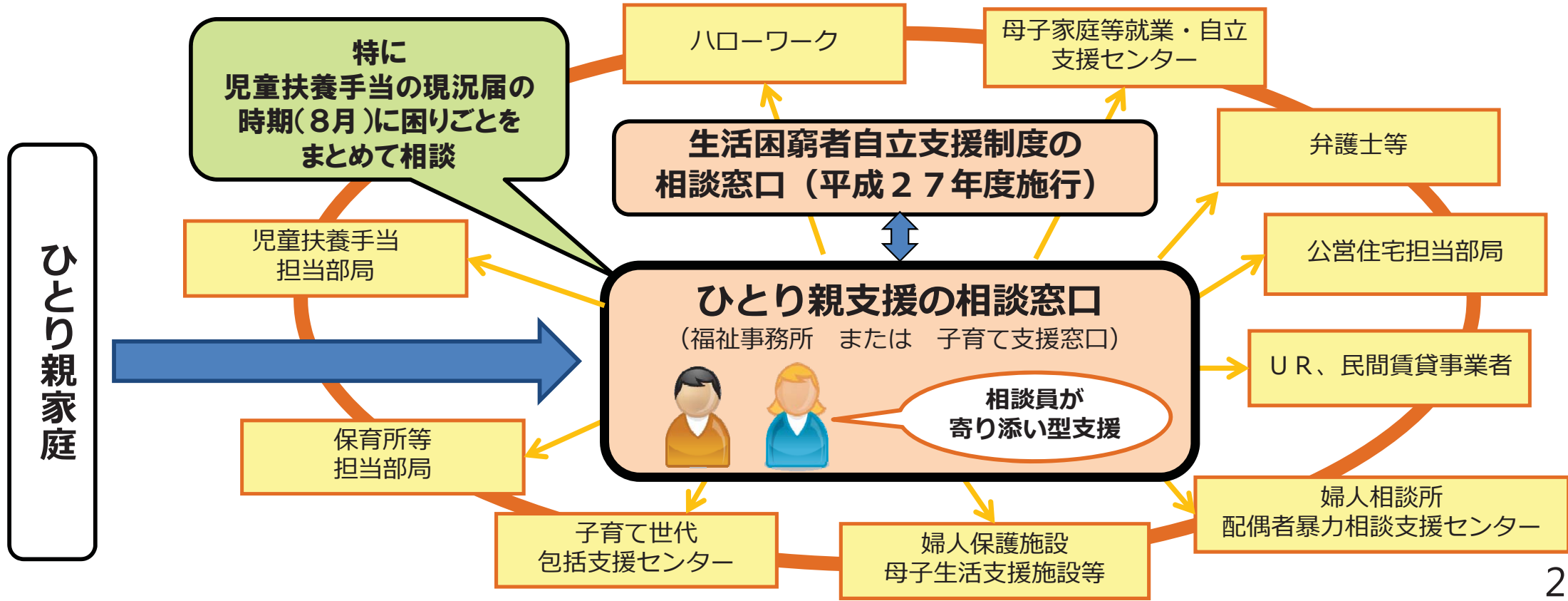
- 子供の未来応援国民運動の推進（支援情報の一元的な集約・提供、支援活動と支援ニーズのマッチング事業、地域における交流・連携事業の展開、民間資金を核とする基金創設等）【内閣府】

相談窓口のワンストップ化の推進①

～ひとり親家庭集中相談体制の整備等～

概要

- ひとり親家庭の相談窓口は、母子・父子自立支援員に加え、就業支援専門員の配置を進め、子育て・生活に関する内容から就業に関する内容まで、ワンストップで相談に応じることができる体制を整備し、必要に応じて、他の支援機関につなげることにより、総合的・包括的な支援を行う体制を整える。
- 児童扶養手当の現況届の時期等（集中相談期間）に、子育て・生活、就業、養育費の確保など、ひとり親が抱える様々な課題をまとめて相談できる体制の構築を支援する。
※これにより、自治体が集中相談期間以降もひとり親家庭を継続的にフォローすることが可能



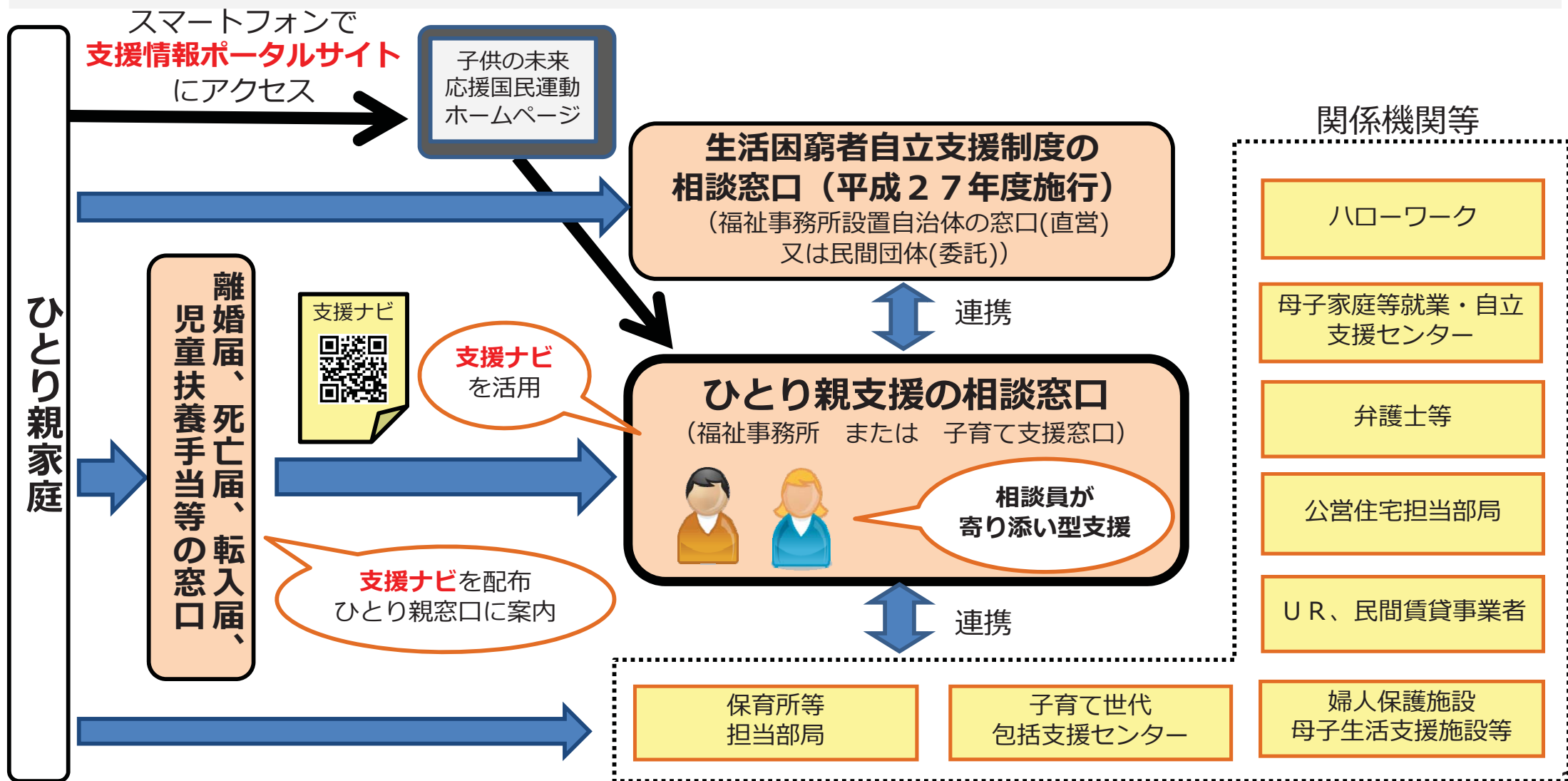
相談窓口のワンストップ化の推進②

支援につながる

～相談窓口への誘導～

概要

自治体内の各窓口における連携、支援ナビの活用、支援情報ポータルサイト（子供の未来応援国民運動ホームページ）の活用により、ひとり親支援の相談窓口への誘導を強化する。



相談窓口のワンストップ化の推進③

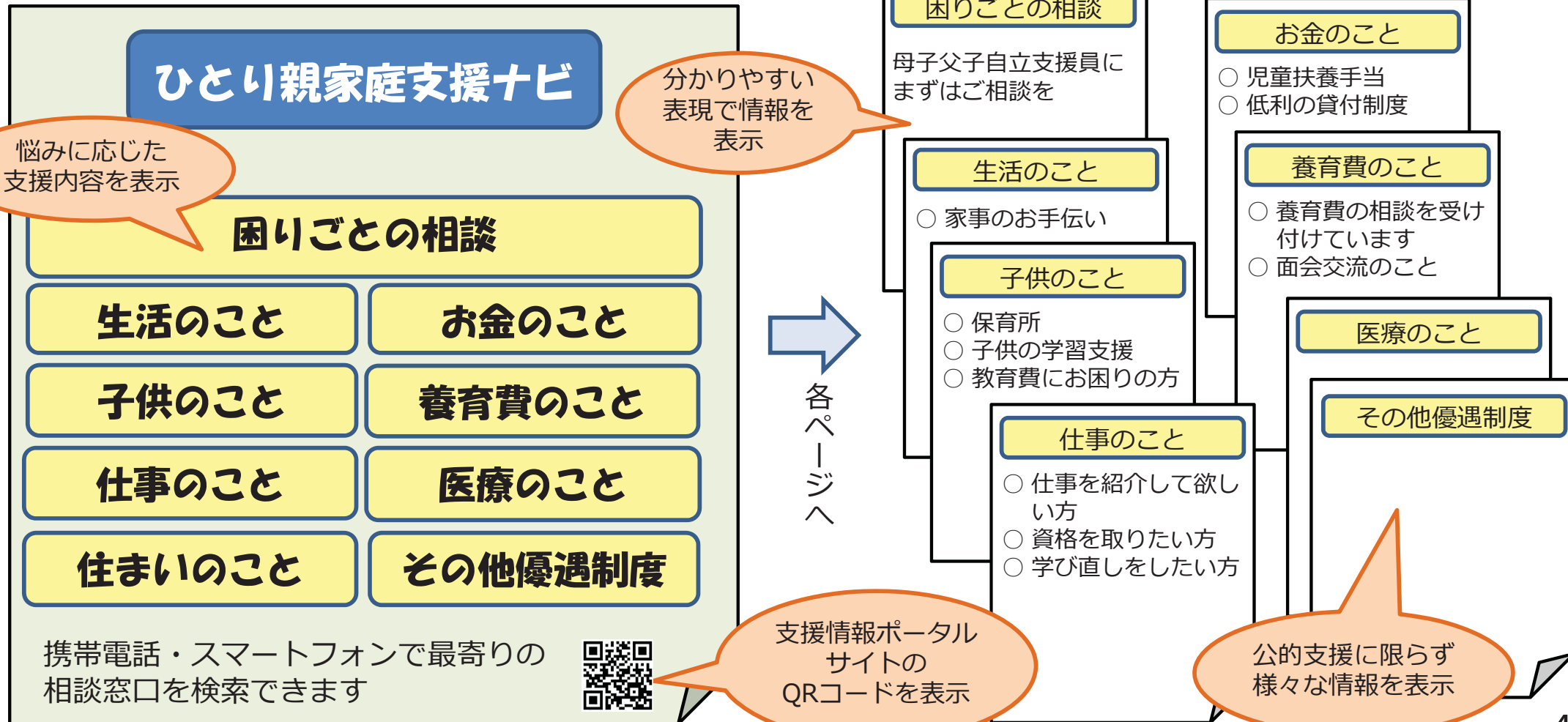
～ひとり親家庭支援ナビの作成及び活用～

支援につながる

概要

- ひとり親家庭の支援窓口は多岐にわたっていることから、それぞれの課題に対応した情報や相談窓口をコンパクトにわかりやすく示すことで、相談窓口へのアクセスの向上を図る。
- 転入届時や児童扶養手当の現況届出時（毎年8月）に配布することで、広く相談窓口の周知を図る。

【ひとり親家庭支援ナビ イメージ図】



相談窓口のワンストップ化の推進④

～支援情報ポータルサイトの活用～

支援につながる

概要

- ひとり親家庭が地域の相談窓口確実につながるよう、パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用し、支援情報ポータルサイトで郵便番号を入力するだけで地域の相談窓口を検索できるようにする。
- 相談窓口へのアクセスを向上するとともに、携帯メールを活用した双方向支援につなげることも可能とする。

